

事務事業マネジメントシート(平成25年度実績と平成26年度計画)

平成26年 5月23日更新

事務事業名		男女共同参画推進行動計画進管理事業					☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連					
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり				所属部	総務部	課長名	中村誓丞		
	施策	23	人権が尊重される社会づくり				所属課	総務課	担当者名	森田健二		
	基本事業	78	男女共同参画推進活動の実践				所属班	総務・男女共同参画班	(内線)	1217		
予算科目		会計一般	款2	項1	目15	事業連番11469	法令根拠	男女共同参画社会基本法、合志市男女共同参画まちづくり条例			成果優先度評価結果	⑨
											コスト削減優先度評価結果	⑥
終了、開始年度		☐ 25年度で終了 ☐ 25年度から開始					事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 22 年度) ☐ 期間限定複数年度 (～ 年度)				

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	(管理事業H24～) 平成24年度より第2次行動計画(平成24年度～平成28年度)をもとに毎年、実施状況調査報告書を作成する。 (策定事業H22～H23) 行動計画策定の流れ ・男女共同参画社会の実現を目指すために、男女共同参画推進の指針となる「第2次合志市男女共同参画推進行動計画～パートナーシッププラン・こうし～」を策定。平成22年度に市民意識調査を実施し、その後、男女共同参画推進懇話会や男女共同参画推進委員会・幹事会・ワーキンググループ等で内容を協議した。同計画の対象期間は、平成24年度～28年度。・男女共同参画社会基本法に基づき、平成19年3月に「合志市男女共同参画推進行動計画～パートナーシッププラン・こうし～」を策定したが、この計画が平成23年度までであり、計画の見直しを行ったもの。・平成17年に国が「第2次男女共同参画基本計画」を、平成18年に熊本県が「改訂熊本県男女共同参画計画～ハーモニープランくまもと21～」をそれぞれ策定し、平成19年9月に本市が「合志市男女共同参画まちづくり条例」を制定。同条例の趣旨を浸透させ、さらに男女共同参画を促進する必要がある。
【業務の流れ】	(管理事業H24～) 実施状況調査報告書の作成をワーキンググループへ依頼→男女共同参画推進幹事会で内容検討→男女共同参画推進委員会で承認→ホームページへ掲載 (策定事業H22～H23) 行動計画策定の流れ 男女共同参画推進懇話会、男女共同参画推進委員会・幹事会・ワーキンググループ等による協議。パブリックコメントで市民に意見を募る。パブリックコメントの意見を再度、男女共同参画推進委員会・幹事会・ワーキンググループ等で協議。計画策定。広報誌掲載
【主な予算費目】	なし
【意見や要望】	市民から基本目標の表現についての指摘があった。
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
①手段(主な活動) 25年度実績(25年度に行った主な活動)(DO) 平成24年度より第2次行動計画(H24年度～H28年度)をもとに毎年、実施状況調査報告書を作成する。		26年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 実施状況調査報告書を作成する。
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
→ア:市民意識調査の実施回数	回	なし
→イ:懇話会、推進委員会、幹事会、ワーキンググループの延べ開催数	回	
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	(単位)	②対象指標(対象の大きさを表す指標)
男女共同参画推進行動計画及び実施状況調査報告書		→ア:行動計画数
		→イ:実施状況調査報告書数
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	(単位)	③成果指標(意図の達成度を表す指標)
策定された行動計画により男女共同参画が推進される。		→ア:基本目標数
		→イ:
*③成果指標設定の理由と26年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
行動計画の基本目標を中心に実施状況調査報告書を作成し男女共同参画社会をめざす。		全体計画
		～年度
		6,508

(2)各指標・総事業費 の推移				単位	23年度 実績(決算)	24年度 実績(決算)	25年度 目標(当初予算)	25年度 実績(決算)	26年度 目標(当初予算)	27年度 予定	28年度 見込	29年度 見込
① 活動指標	ア	回		1	0	0	0	0	0	1	0	0
	イ	回		6	11	11	11	11	11	11	11	11
② 対象指標	ア	件		1	1	1	1	1	1	1	1	1
	イ	数		0	1	1	1	1	1	1	1	1
③ 成果指標	ア	つ		4	4	4	4	4	4	4	4	4
	イ											
投資 入費 量	事業 内訳	財源	国庫支出金	千円								
			都道府県支出金	千円								
			地方債	千円								
			その他	千円								
			繰入金	千円								
			一般財源	千円								
	(A) 事業費計	(A) 事業費計	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A) のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A) のうち時間外・特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	人件 費	正規職員従事人数	人	4	3	0	4	0	0	0	0	0
		延べ業務時間	時間	440	40	0	45	0	0	0	0	0
		(B) 人件費計	千円	1,776	162	0	179	0	0	0	0	0
	トータルコスト(A)+(B)	千円	1,776	162	0	179	0	0	0	0	0	

事務事業名	男女共同参画推進行動計画進行管理事業	所属部	総務部	所属課	総務課
-------	--------------------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部（SEE）

*原則は25年度的事後評価、ただし複数年度事業は25年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①25年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	☒ 達成した ☐ 達成しなかった ⇒【理由】
	②26年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 ☐ 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 毎年度、実施状況調査報告書を作成するので目標達成の見込みあり
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	☐ 向上余地がある ⇒【理由】 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】 行動計画により基本目標を定めているので向上余地はない
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☐ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業）⇒【理由】 ☒ 他に手段がない ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 男女共同参画社会基本法、合志市男女共同参画まちづくり条例に基づき行うものであり、他に手段がない
	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 行動計画策定時以外は事業費なし
効率性評価	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？（アウトソーシングなど）	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 必要最低限である
	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 市が策定するものであり、公平・公正である
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 男女共同参画社会を実現するため、国の最重要課題と位置づけられており、市が率先して行う責務がある

3 評価結果の総括（SEE） ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

行動計画策定・管理としているが、現実にはどれだけ男女共同参画が推進できているか図るものがない。次年度以降の課題としたい。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（PLAN）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可				(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																								
☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統廃合・連携 ☐ 事業のやり方改善（有効性改善） ☐ 事業のやり方改善（効率性改善） ☐ 事業のやり方改善（公平性改善） ☒ 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）				<table><tr><td colspan="2" rowspan="2"></td><td colspan="3">コスト</td></tr><tr><td>削減</td><td>維持</td><td>増加</td></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>						コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
		コスト																										
		削減	維持	増加																								
成果	向上																											
	維持		○																									
	低下																											
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																												